

文化科学研究

2018 Vol. 30

【フォーラム特集】歴史と文学の間 — 歴史家の目、文学者の目

戦国武将細川幽斎の和歌 — 関ヶ原の戦における歴史と文学 —

小高道子

天下人の和歌・連歌 — 信長・秀吉・家康 —

鶴崎裕雄

大河ドラマ・司馬文学と歴史学 — 「日常」の発見 —

小川和也

【研究】

ギュンター・グラス『蟹の横歩きで』試論 — 三世代の物語から見えてくるもの —

林久博

書道文化研究プロジェクト 硯と墨色の試み 研究報告
大池茂樹 磯谷寧 上小倉一志 庄田昭人 高桑康 村瀬俊彦

広重への旅へ誘われ～藤沢周平、作風の変遷～

鶴田武志

SPASTIC DYSPHONIA 1871-1990

Kaori Miyatake

奉納和歌と柿本社

小高道子

東京藝術大学附属図書館蔵『山鳥秘要録中律呂之論』 — 解題と翻刻 —

明木茂夫

【資料】

2018年アートクリティック活動の報告

酒井正志 玉崎紀子 服部厚子

中京大学文化科学研究所